

## 基本政策2 生活環境

### 目指す姿1 犯罪・事故のない地域の実現

“四つの元気”



「犯罪被害を考える日」街頭キャンペーン



秋の全国交通安全運動



除排雪団体による活動

#### 施策の方向性① 防犯意識の向上と防犯活動の促進

刑法犯認知件数は全国最少レベルで推移しているものの、少子高齢化に伴う地域の防犯力の低下が懸念されることから、犯罪の防止に向けた県民一人ひとりの意識の向上と地域住民による自主的な活動を促進します。

##### 【主な取組】

- (1) 様々な機会を活用した防犯情報の提供
- (2) 自主防犯活動の活性化に向けた支援

#### 施策の方向性② 犯罪被害者等への支援

犯罪被害者等が必要とする支援は、被害の状況等により多岐にわたることから、実情に応じたきめ細かな支援を行うとともに、県民が犯罪被害者等に対する関心と理解を深め、支えていく気運を醸成します。

##### 【主な取組】

- (1) 犯罪被害者等に対する県民の理解を促進する啓発活動の実施
- (2) 犯罪被害に関する市町村の相談対応力の強化への支援
- (3) 性暴力被害に関する総合的なワンストップ支援の実施

#### 施策の方向性③ 「人優先」を基本とした交通安全対策の推進

歩行者が被害に遭う交通事故の発生が続いていることから、高齢者、障害者、子ども等の交通弱者の安全を確保する意識を醸成し、交通事故の発生を抑制します。

**【主な取組】**

- (1) 福祉分野との連携による高齢者に対する交通安全意識の啓発
- (2) 季別の交通安全運動、飲酒運転追放県民運動等の展開

**施策の方向性④ 総合的な雪対策の推進**

人口減少・少子高齢化に伴い地域の除排雪の担い手が減少していることから、住民同士の協力等による除排雪活動を促進するとともに、除排雪作業中の事故の発生を抑制します。

**【主な取組】**

- (1) 地域の除排雪に取り組む団体・組織の設立、活動等への支援
- (2) 除排雪作業における安全対策に関する啓発
- (3) 民間団体等との協力による地域を越えた除排雪支援体制の構築

**施策の方向性⑤ 自立した消費者の育成と消費者被害の防止**

特殊詐欺、悪質商法等の手口の巧妙化や消費生活のデジタル化の進展など、消費者を取り巻く環境が目まぐるしく変化していることから、県民一人ひとりが、被害の防止に向けて自ら考え、行動する「自立した消費者」となるための消費者教育を推進します。

**【主な取組】**

- (1) 高齢者に対する特殊詐欺被害の防止に向けた啓発
- (2) 世代等に応じた消費者トラブルの防止に向けた啓発

指標

指標名	単位	実績値		目標値				出典
		2019	2020	2022	2023	2024	2025	
① 刑法犯認知件数	件	2,162	2,382	前年比減	前年比減	前年比減	前年比減	県警察本部調べ
② 犯罪被害者等に対する関心と理解を深めるイベント等の参加者数	人	250	164	275	300	325	350	県調べ
③ 交通事故死者数	人	40	37	27以下	27以下	27以下	27以下	県警察本部「交通統計」
④ 交通事故重傷者数	人	250	251	200以下	200以下	200以下	200以下	県警察本部「交通統計」
⑤ 除排雪団体数(累積)	団体	46	51	65	70	75	80	県調べ
⑥ 県・市町村消費生活センターにおける消費生活相談員の資格保有率	%	64	67	75	75	75	75	県調べ

目指す姿2 快適で暮らしやすい生活の実現



高校生への調理講習



動物愛護センター



命の教室



施策の方向性① 食品の安全の確保と水道事業の基盤強化への支援

HACCP※に沿った衛生管理が制度化されるなど、食品や水道水の安全性の向上が一層求められていることから、食品事業者による自主的な衛生管理等を促進するとともに、市町村等が安全な水道水を安定して供給できるよう支援します。

※HACCP（ハサップ）：危害（Hazard）、分析（Analysis）、重要（Critical）、管理（Control）、点（Point）の頭文字による略語。食品等事業者自らが、食中毒汚染等の危害要因を把握し、原材料の入荷から製品の出荷に至るまでのリスク管理を行う衛生管理手法。

【主な取組】

- (1) 食品事業者によるHACCPの導入等に対する支援
- (2) 生産者・食品関連事業者・消費者による食品の安全・安心に関する地域懇談会の開催
- (3) 市町村等による水道施設の耐震化、広域連携等への支援

施策の方向性② 生活衛生関係営業者への支援

県民生活に密接に関係している生活衛生関係営業の経営の健全化等が求められていることから、営業者による経営基盤の強化に向けた取組を支援します。

【主な取組】

- (1) （公財）秋田県生活衛生営業指導センターが行う経営相談、融資指導、後継者育成等への支援
- (2) 生活衛生関係営業施設の衛生水準の維持向上等に向けた指導

施策の方向性③ 人と動物が共生する地域づくり

動物愛護に関する県民の関心や行政への期待が高まっていることから、動物愛護センターを拠点とした「動物にやさしい秋田」の実現に向けた取組を推進します。

【主な取組】

- (1) 動物愛護団体等との協働による犬猫の適正飼養の啓発と適正譲渡の推進
- (2) 動物愛護に関する取組や秋田犬等をテーマとした本県の魅力の発信

#### 施策の方向性④ 空き家対策の推進

人口減少や少子高齢化の進行に伴い、適切な管理が行われていない空き家が増加し、周辺的生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、新たな空き家の発生を抑制するとともに、空き家の処分や流動化を促進します。

##### 【主な取組】

- (1) 空き家の処分や活用に関するワンストップ相談窓口の設置
- (2) 空き家バンクの利便性の向上と空き家情報の発信の強化

#### 施策の方向性⑤ 情報通信インフラ等の整備の促進

携帯電話やラジオ放送等を利用できない不感地域があるなど、情報通信における地域や個人間等の格差が生じていることから、これらの解消に向けた基盤整備を促進します。

##### 【主な取組】

- (1) 市町村が行う携帯電話基地局の整備への支援
- (2) 市町村が行うラジオ放送中継施設の整備への支援
- (3) 県民がデジタル技術を身近に感じることができる環境の整備

指標

指標名	単位	実績値		目標値				出典
		2019	2020	2022	2023	2024	2025	
① 食品安全に関する研修会・懇談会等への参加者数	人	8,566	5,339	9,000	9,000	9,000	9,000	県調べ
② 秋田県生活衛生営業指導センターの相談件数	件	513	318	430	430	430	430	県調べ
③ 動物愛護センター入場者数	人	52,070	34,586	17,000	17,000	17,000	17,000	県調べ
④ 県内の空き家の増加率	%	8.9	1.9	3.0	2.0	1.0	0.0	県調べ
⑤ 携帯電話のサービスエリア外地域の地区数	地区	31	28	25	22	19	16	総務省調べ

(モニタリング指標)

・犬猫の年間殺処分数

出典：県調べ

・光ファイバー利用可能世帯率

出典：総務省調べ

など

## 目指す姿3 安らげる生活基盤の創出



街路整備・無電柱化による道路環境の改善



冬期の安全な交通を確保する道路除雪作業



県民の憩いの場となっている小泉湧公園

### 施策の方向性① 安全・安心を支える生活道路の整備

高齢化が進む本県においては、日常生活に密着した道路の安全性と利便性の向上が求められていることから、年間を通じた良好な生活道路環境の確保を図ります。

#### 【主な取組】

- (1) 地域生活に直結する道路の整備
- (2) 歩道、防護柵等の交通安全施設の整備
- (3) 道路除排雪の実施と消融雪施設の整備・管理
- (4) 都市内交通の円滑化に向けた街路等の整備

### 施策の方向性② 良好な生活排水処理基盤の整備

下水道等の施設の老朽化や人口減少の進行による自治体の規模の縮小等に伴い、生活排水処理サービスの水準の低下が懸念されることから、将来にわたって良好な生活排水処理基盤を維持できるよう効率的な施設管理等を進めます。

#### 【主な取組】

- (1) 流域下水道・公共下水道、農業集落排水施設等の整備
- (2) 生活排水処理施設の集約・再編や汚泥処理の広域化・共同化の推進

### 施策の方向性③ 安らぎと潤いのある空間づくり

都市集中型社会から地方分散型社会への転換が進み、地方移住の気運が高まる中、より質の高い生活空間の確保が求められていることから、県民が四季を通じてゆとりと豊かさを実感できる空間を創出します。

#### 【主な取組】

- (1) 都市公園の整備
- (2) 特色あるまち並みの創出に向けた取組への支援

指標

指標名	単位	実績値		目標値				出典
		2019	2020	2022	2023	2024	2025	
① 通学路指定路線における歩道整備率	%	46.4	46.7	47.1	47.4	47.6	47.8	県調べ
② 生活排水処理場数	箇所	233	226	223	213	209	207	県調べ
③ 県立都市公園の年間利用者数	千人	943	745	879	879	879	879	県調べ